

2016年度も、東京のほか、子どもの権利条約総合研究所関西事務所、北海道事務所においても定例研究会を開催しました。詳細は以下の通りです。

【東京】

①2016年9月3日（土）

テーマ：子どもにやさしいまちづくりのいまー全国自治体調査の分析をふまえてー

【報告】

「自治体における子ども施策の現状と課題ー全国自治体調査の分析ー」

内田 塔子（東洋大学、子どもの権利条約総合研究所事務局長）

【コーディネーター】

半田 勝久（日本体育大学、子どもの権利条約総合研究所事務局次長）

②2016年12月3日（土）

テーマ：子どもの権利政策ー日韓比較研究

報告：

「子どもの権利の内容と核心的争点」

金ヒョンワン・韓国人権政策研究所所長

「日本の子どもの権利施策の現状と課題」

荒牧重人・子どもの権利条約総合研究所代表

③2017年2月25日（土）

・公開シンポジウム「改正児童福祉法をどう活かすか」

・日時：2月25日（土）13：00～17：00

・会場：東洋大学白山キャンパス 8号館7階 125 記念ホール

基調講演：松原 康雄（明治学院大学学長・社会保障審議会児童部会専門委員会座長）

シンポジウム報告：

竹内 尚也（厚生労働省虐待防止対策推進室長）

中村 哲也（東京都世田谷区子ども・若者部長）

濱田 雄久（弁護士）

指定討論者：

田沢 茂之（NPO 法人子どもすこやかサポートネット代表理事）

木ノ内博道（千葉県里親家庭支援センター代表）

コメント：

松原 康雄（前掲）

大谷美紀子（弁護士、国連・子どもの権利委員会委員）

コーディネーター：

森田明美（東洋大学教授・福祉社会開発研究センター長）

荒牧重人（山梨学院大学教授）

【関西】

①2016年6月11日（土）

テーマ：子どもの権利の視点から「子どもの貧困問題」を考える——乳幼児期の子どもに保育を保障する取り組みを通して

内容

1. 基調報告「子どもの貧困を考える—解放保育と共同子育てに学んで」

田中 文子（子ども情報研究センター）

2. 指定討論

○ 保育実践者の立場から

報告者 堀井 二実（社会福祉法人いきいきのびのび わくわく保育園）

○ 保護者の立場から

報告者 鶴岡 妙（シングルマザー）

○ 子どもの権利の視点から

報告者 荒牧 重人（山梨学院大学）

3. 質疑と討議 コーディネーター

浜田 進士（子どもの権利条約総合研究所）

住友 剛（京都精華大学）

②2017年2月4日（土）

テーマ：「子どもの権利の視点から『子どもの貧困問題』を考える—学童保育・同和教育の取り組みを中心として—

基調報告：「子どもの人権と活動支店の回顧と展望—学童保育・同和教育の取り組みを中心として—」（上杉孝實、京都大学名誉教授・基礎教育保障学会会長）

指定討論：実践者の視点から①学童保育の現在とこれから

洪志津、大阪市学童指導員

実践者の視点から②子どもの貧困と同和教育

酒井久也、泉南市教育委員会人権教育課長

コーディネーター：浜田進士（子どもの権利条約総合研究所副代表）

住友剛（京都精華大学教授）

【北海道】

①2016年6月25日（土）

テーマ「18歳選挙権の行使と課題ー主権者教育のあり方と政治的中立性ー」

基調報告「18歳選挙権の行為と課題ー子どもの市民的自由と主権者教育」

松倉聡史（子どもの権利条約総合研究所北海道事務所長、名寄市立大学教授）

シンポジウム

士別翔雲高校 生徒2名

士別翔雲高校教諭 松本春樹

旭川東高校 生徒1名・教師1名

旭川南高校 生徒2名

旭川南高校教諭 松代峰明

全体討論

コーディネーター 齋藤 眞宏（旭川大学准教授）

コメンテーター 荒牧 重人（子どもの権利条約総合研究所代表、山梨学院大学法科大学院教授）

②2017年3月4日（土）

テーマ「子どもの貧困と子ども支援」

第1部 13:45～14:45

対談「子ども条例と子ども支援をめぐる」

講師：上田 文雄（札幌市前市長・子どもの権利条約総合研究所北海道事務所顧問・弁護士）

講師：荒牧 重人（子どもの権利条約総合研究所代表・山梨学院大学教授）

第2部 15:00～16:20

講演「子どもの貧困問題を考える」

講師：山野 良一（名寄市立大学教授）

実践報告「児童館を活用した子ども食堂の取り組み」

講師：清水 冬樹（旭川大学短期大学部准教授）